

産地生産基盤パワーアップ事業評価書

(収益性向上対策)

都道府県名	事業実施 地区数 (ア)	評価対象 外地区数 (イ)	評価対象 地区数 (ア-イ)	成果目標の平均達成率※	評価対象地 区数のうち、 都道府県が 地域協議会 へ改善指導 を必要とし た地区数	地方農政局 等から都道 府県計画の 改善指導の 必要の有無	【参考】 評価対象地 区数のうち、 達成率80未 満の地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
大分県	25	15	10	69.5%	4	有	4	評価対象10地区のうち、4地区が目標未達成となった。 要因として、労働力不足による収量減少や猛暑等の気象による生理障害、作業可能時間の短縮等により、目標達成に至らなかった。 今後も引き続き、関係機関と連携し、面積拡大や販路開拓等を促し、販売額の増加を図る。	大分県の成果目標平均達成率は、国が達成と判断する90%に対し69.5%であり、目標は達成されていない。 このため、農政局から県に対し、成果目標の達成に向けた要因分析及び改善措置の提出を求めるとともに、未達成の地域協議会及び取組主体に対しては、県担当者から指導を行うなど、県による主体的な取組を指導する。 なお、大分県が改善措置を必要とした地区(達成率90%未満)の概要は以下のとおり。 〈参考：成果目標未達成地区の概要〉 【野菜】3地区 評価対象の4地区のうち、目標未達成地区が3地区となっている。「販売額増加の目標」が未達となった3地区の主な要因は、1地区(いちご)は、労働力不足による適期作業ができなかったことによる収量の低下、1地区(小ねぎ)は、豪雨や猛暑等の天候不順による整理障害や作業時間の短縮が発生したことによる収量の低下、1地区(菌床椎茸)は、生産者の体調不良等による栽培管理不足で収量が低下したことにより未達成となった。 【茶】1地区 評価対象の2地区のうち、1地区について、荒茶1キロあたりの単価を上げるため、早期摘採を行ったところ、単価は上がったが(6%増)、それ以上に収穫量が減少した(21.8%減)結果、販売額減少となったため、「販売額の増加の目標」が未達成となった。

※小数点第1位まで記載する